

あきはくはつものがたり

令和4年3月20日
発行：秋葉区自治協議会
編集：広報部会

アキハスムプロジェクト

Facebook、ホームページでも情報発信中！

『発』 秋葉区から発信する数々のイベント
『初』 秋葉区から始まった数々の誇れるもの
『抜』 抜きん出ている素晴らしいもの

幸福度調査部会

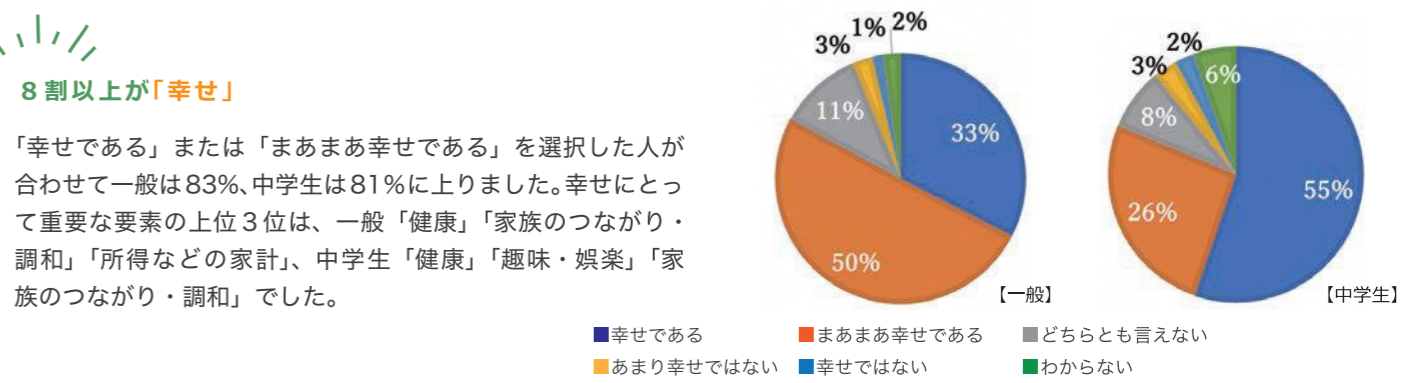
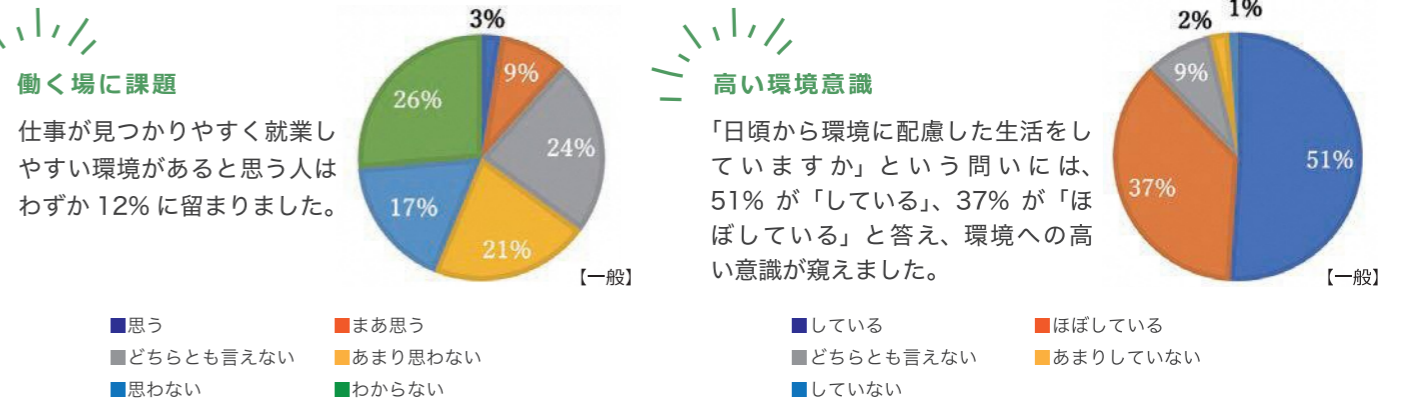
まちづくりに生かします！「秋葉区の暮らしやすさに関する意識調査」

秋葉区自治協議会では、秋葉区地域総務課および大正大学地域創生学部と連携し、令和3年の夏から秋にかけて「秋葉区の暮らしやすさに関する意識調査」を実施しました。調査結果からは住民のみなさんの意識を通して秋葉区の良い点や問題・課題がはっきりと見えてきました。これらの成果は「特色ある区づくり予算」の編成や次期「区ビジョンまちづくり計画」策定の基礎資料として使用されます。ご協力ありがとうございました。

【一般】
期間 令和3年8月10日～10月8日
対象 令和3年4月時点で秋葉区在住15才以上の中から無作為抽出された2,000人およびウェブ上での回答者募集
回答数 1,035件（うちウェブによる回答143件）
【中学生】
期間 令和3年9月7日～10月8日
対象 令和3年4月時点で秋葉区内の中学校に通う生徒1,966人
回答数 478件

約7割が「住み良い」・約6割が「愛着がある」

住み良い理由としては「災害が少ない」「交通上の利便性」「買い物や食事に便利」「自然豊かである」などが挙げられました。



この調査では、全部で52項目に渡り様々な角度から秋葉区民の意識を伺うことができました。詳しい調査結果は後日、秋葉区のホームページで公開します。 <https://www.city.niigata.lg.jp/akiha/>



【プロフィール】
ジチキョー1期目
趣味は山登りと手芸

作者：necoco

新潟まんが事業協同組合「ガタまん」に所属。イラストやマンガのご依頼をいただいて制作しています。海洋生物や動植物が好きです。



「アキハスムプロジェクト」のお揃いのポロシャツを着用して、秋葉区のPRをしながら活動しています。

このロゴマークは『楽しく秋葉区に住む』ということで、家が微笑んでいるように「AKIHA」の文字をタテに並べたものです。



編集後記

私は、秋葉区を愛しています。程よく自然があり、程よく賑わい、何よりところがあたたかい人が多い。そんな地に生まれ、今もこの地で好きな仕事ができ、そして生きることを楽しむことが出来ている。自分がたまたま人間に生まれて命があるだけでも幸せなのに、万物に感謝しかありません。命ある限り、生きること必死になり、勿体無いことをしないようにしたいものです。

世界は、コロナウィルスの話が絶えませんが、人間が持つ根源的な生命力と感覚を信じて人間ひとりひとりのエネルギーとパワーで明日が輝いていくことを願っています。

そして秋葉区も、輝く人々で、さらに豊かな街になっていくことを祈ります。

<土田 貴好 記>

募集しています！

かわら版や自治協議会活動についてのご意見、ホームページに掲載してほしい情報を募集しています。住所・氏名・連絡先をご記入の上、下記自治協議会事務局宛にて郵送、FAX、またはメールでお送り下さい。

〒956-8601（住所記載不要）
秋葉区役所 地域総務課 企画グループ
FAX / 0250-22-0228
メール / chiikisomu.a@city.niigata.lg.jp



Report 報告します！

秋葉区自治協議会 部会活動報告

本年度も「きらめきサポートプロジェクト」を実施させていただきました。採択された4つの事業「アキハ フジンロック フェスティバル」「田家～秋葉湖周辺案内地図設置事業」「クマ・イノシシなどの大型獣から命を守る安心安全なまちづくり」「楽しみながら防災を学ぶ『イザ！カエルキャラバン！』」を秋葉区で開催するをコロナ禍の中ではありませんでしたが、滞りなく開催、実施することができました。

子育てママたちを応援したい！秋葉湖周辺の魅力を伝えたい！大型獣からの被害を減らし安心安全なまちをつくりたい！地域の防災意識を高め広げたい！そのような声をサポートすることができたのではないのでしょうか。

令和4年度も「きらめきサポートプロジェクト」を実施予定ですので「きらめく秋葉区」に向けて多くの団体の応募をお待ちしています。

きらめく
秋葉区

第1部会



部会長
横山 喜規

生活交通
支援事業

第2部会



部会長
蓮沼 美宣

第2部会では生活交通支援事業を第7期に引き続いて議論し、今年度はモデル地域に絞って、どんな支援ができるかを検討してきました。

以前から公共交通の運行を要望している満日地区をモデル地域とし、満日コミュニティ協議会、満日地区町内会、民生・児童委員、社会福祉協議会とで話し合いを繰り返しました。

地域の人達にどんな移動ニーズがあるのかについて、全戸アンケートを実施し、地域の実態調査から始めることとなり、1月末にアンケートを回収し2月から分析結果をもとに議論しています。次年度に具体的な生活交通支援事業の試行実施を目指し、これからも取り組んでいきます。

子ども大学
に続き…

第3部会



部会長
花水 真由美

教育・文化・スポーツ等を担当する第3部会の今年度の活動を報告します。

スポーツ分野では、秋葉区出身の7人制女子ラグビー、原わか花さんの東京オリンピック出場が決まり、秋葉区を拠点に活動をしている「新津ラグビースクール」に協賛して応援のぼり旗を作成し、各コミ協や公共施設に設置しました。



教育分野では、昨年度までの「こども大学」から「おとな大学」へと移行し、プレ開催として2回の活動を計画しました。第1回目は子ども大学でも人気のあった「ガラス細工体験」と自治協メンバー推しの「新津工業高校見学」です。第2回目は、SLを身近で見ることができる「JR新津保線区見学」です。ありがたい事に定員を超える多くの応募をいただきましたが、開催間近となった頃、まん延防止等重点措置が発令されたため、次年度へ延期することとなりました。

令和元年度の「こども大学」に続き、またもや延期となり残念ではありますが、来年度に向けて委員全員でより良い「おとな大学」が開催できるよう活動していきますので、よろしく願いいたします。

自治協議会からのお知らせ

秋葉区自治協議会では本会議、各部会を傍聴することができます。定員10名。直接会場どうぞ。

【今後の会議開催日程】

- 本会議 3月25日(金) 13:30～
区役所6階 601・602会議室

※秋葉区自治協議会の開催日、会場は、当月の「あきは区役所だより」およびホームページをご確認ください。

ラジオ版「あきはくはつものがたり」

毎月第2水曜日 12:00～
(再放送 第2水曜日と同じ週の土曜日9:00～)

『クリック! 秋葉区』内「自治協通信」

秋葉区自治協議会本会議の協議内容をお知らせしています。

ラジオチャット エフエムにいつ 76.1MHz

毎月第2金曜日 10:07～

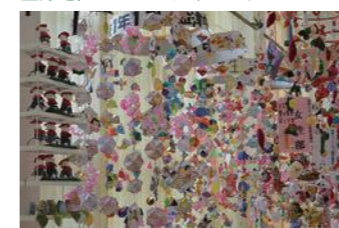
ひな・お宝巡り部会



「きらめきサポートプロジェクト」の採択事業として、小須戸コミュニティ協議会と協働で平成28年度にスタートした「ひな・町屋めぐり」は、年を重ねるごとに参加団体が増え、秋葉区の初春のイベントに育ちました。今年度からは区内すべてのコミュニティ協議会が加わり、名称も「秋葉区ひな・お宝巡り」と新しくなりました。



金津地区コミュニティセンター



旧わかば



小合地区コミュニティセンター



見上げるという動作には、気分を穏やかに、明るく前向きにしてくれる効果があるそうです。たしかに、ばんざいや深呼吸をする時も天を仰ぎますね。つるし飾りを見に訪れた方々が身も心も元気になるなんて、なんと素晴らしいことでしょう。つるし飾りだけでなく、この時期にしかお目にかかれない珍しいお宝や豪華な雛人形を展示している地域もあります。区全体が春への期待にあふれたイベントとなりました。

薬剤師
国家試験の
合格を祈願!



小須戸まちづくりセンター

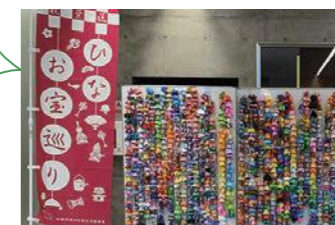
新津地域交流センター



新関コミュニティセンター



荻川コミュニティセンター



新潟薬科大学



【会場/会期】

- ・新津地域交流センター ～3月21日(月・祝) 午前
- ・荻川コミュニティセンター ～4月3日(日)
- ・新関コミュニティセンター ～3月31日(木)
- ・小合地区コミュニティセンター ～4月16日(土)
- ・金津地区コミュニティセンター ～4月30日(土)
- ・小須戸まちづくりセンター、旧わかば、町屋ギャラリー薩摩屋 ～3月27日(日)

*新光商店街、0番線商店街、堀出神社、小須戸本町通り商店街 花の湯館、秋葉区文化会館等は、各会場により異なります。

会場によって会期、開館時間が異なります。
詳しくは秋葉区役所HPをご覧ください。→

